

中国の高等教育機関における芸術芸能学科の動向

—演劇映画学科を中心に—

韓 冀 娜・沈 雨 香

序 論

本稿は中国の高等教育⁽¹⁾機関における芸術芸能学科，なかでも特に急成長を遂げた演劇映画学科に注目し，芸術芸能教育の発展状況と発展要因を明らかにすることを目的とする。また最後に，中韓比較の視点から，芸術芸能教育の担い手，演劇映画学科の供給と需要，国家からの支援政策などを分析することを試みる。

1980年代以来，計画経済体制から「社会主義市場経済体制」への体制転換により，中国における経済成長が急速に推し進められている。また，社会と経済の発展に伴い，高等教育も飛躍的な成長を遂げた。中華人民共和国統計局の調査によると，2013年高等教育の総募集人数が6,998,330人，卒業生数が6,387,210人，在学者数が24,680,726人となっており，1980年代初めの1,144,000人の在学者数と比較すると，約21.57倍に拡大した⁽²⁾。このような高等教育機関への進学率の拡大は，以下の2点から説明できる。まず，急速な社会・経済の発展により，高等教育を受けた人材に対する社会と経済からの需要が高まっていること。また同時に，家庭収入と生活水準が顕著に向上しており，人々の高等教育への進学意欲も高くなっていること。その多様な需要を受け，現在，中国では，高等教育機関における学部・学科の設置が活発に行われている。その中でも特に急成長を見せているのは芸術芸能学科である。

図1(1)によると，芸術芸能学科の募集定員，在学者及び卒業生が年々上昇しており，2004年の

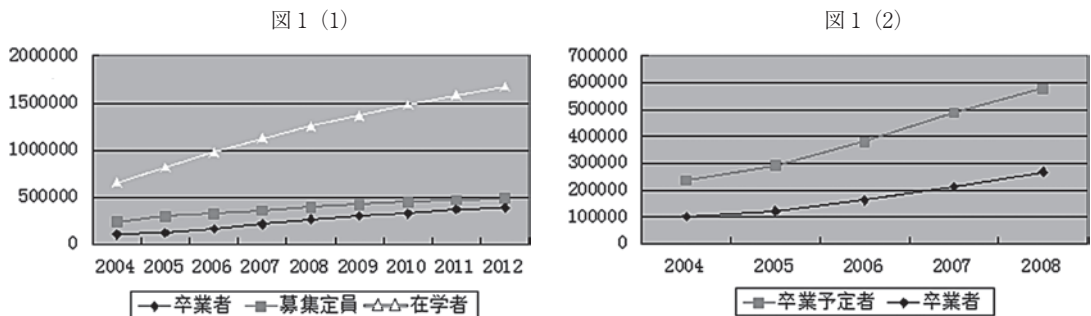


図1 中国高等教育における芸術芸能学科の学生数(人)

出典 「中国高等教育统计数据」⁽³⁾より筆者作成

募集定員 236,900 人に対して 2012 年には 484,449 人と急増した。わずか 8 年間で、募集定員が 2.0 倍増加した。しかしながら、在学者をみると、その数は 651,666 人から 1,673,767 人と、募集定員の増加率を超えて 2.5 倍になった。そのような倍率の差に関しては、2つの原因が考えられる。まず、実際の入学者数が募集定員より多かったこと。そしてもう 1つは、図 1 (2)⁽⁴⁾に示すように、卒業予定者の約 3 割以上の学生がなんらかの原因で卒業していないことである。

芸術芸能学科における急激な成長は、2004 年以前のデータを見るとより顕著に表れている。同じ中華人民共和国統計局の調査データによると、中国の高等教育における文学学科⁽⁵⁾の在学者数は 1994 年に 350,291 人であったが、2004 年に入ると、2,118,209 人に増えており、20 年間で 1,767,918 人に増加した⁽⁶⁾。2004 年の在学者のうち、芸術芸能系の在学者数は 651,666 人であり、文学学科全体の 30.7%であったが、2012 年になると、文学学科在学者のおよそ半分 (45.5%) が芸術芸能学科に在籍していた⁽⁷⁾。このように、以前は文学学科に含めていた芸術芸能学科を、分離したデータとして出すようになったことも芸術芸能学科の急速な増加と関連付けられるだろう。

現代社会における芸能人⁽⁸⁾とは、我々の社会に重要な役割を果たしており、様々な面においてその影響力を及ぼしている職業であると言える。そして、芸術芸能学科はそのカリキュラム構成や専門専攻において、芸能人と深く関係している高等教育機関である。こうした状況に関して、沈ら (2015) は、近年韓国における芸能人の社会的地位が大きく上昇しており、高等教育機関における芸能関連学科の急速な拡大・発展と進学をめぐる激しい競争が存在することを明らかにしており、中国の状況を考える上での示唆を提起している。しかし、中国も韓国と同様な状況にありながら、中国を対象に分析した研究は見当たらない。そこで、本稿は中国の高等教育機関における芸術芸能教育、とりわけ芸術芸能学科のうち、もっとも人気のある演劇映画学科を中心に、急成長の実態を把握すると共にその背景と問題点を検討し、韓国と比較することによりその共通点と相違点を考察することを目的とする。

芸術芸能学科の発展

1970 年代以降、中国の改革開放政策の実施により社会経済体制は徐々に変化し始め、求められる人材ニーズの多様化が進んでいる。そのため、大学は社会の変化に目を向け、新しい時代のニーズに適合した人材育成や科学研究を行うことがより一層求められるようになった。芸術芸能教育は高等教育振興の一環として推進され、発展しつつある。

表 1 は、2008 年と 2010 年の中国本専科大学における芸術芸能学科の募集人数を比較したものである。中国において芸術学を設置する専科大学⁽⁹⁾は 1998 年の 407 校だったのに対して 2010 年には 1,205 校に増えている。同様に、本科大学も 1998 年の僅か 173 校から 2010 年の 849 校となっており、4.8 倍に増加している⁽¹⁰⁾。このように、芸術芸能学科を開設する高等教育機関は 1998 年から 2010 年までの 12 年間に、1,474 校も増加していた。そのうち、演劇映画学科の増加率は 11.7 倍、なかでも特に本科大学は 20.2 倍に増加⁽¹¹⁾しており、他の学科の増加率をはるかに上回っている。

表1 中国本専科大学における芸術芸能学科の募集人数（2008年と2010年）

	専科大学			本科大学		
	1998年(人)	2010年(人)	2010/1998(倍)	1998年(人)	2010年(人)	2010/1998(倍)
芸術学	23,897	163,553	6.8	17,596	29,670	17.0
1 芸術学概論	0	159	—	0	204	—
2 音楽舞踊学	8,249	21,512	2.6	5,779	67,184	11.6
3 演劇映画学	848	20,668	24.4	1,011	63,437	62.7
4 美術学	6,897	8,010	1.2	4,331	40,524	9.4
5 デザイン学	7,903	113,204	14.3	6,475	128,303	19.8

出典 張海水、胡瑞文「人才供求視角下我国普通高等教育艺术学科发展状况研究」より筆者作成

また、芸術芸能学科を開設した学校数の増加とともに、芸術芸能学科の募集人数も急速に増えている。専科大学における芸術芸能学科の募集人数は12年間で6.8倍に増加したのに対し、本科大学の増加率は17.0倍となっている。これは、芸術芸能学の高学歴傾向を示すものである。特に、演劇映画学科に注目すると、1998年の1,011人に過ぎなかった本科大学の募集人数が、2010年には63,437人となり、62.7倍に増加して5つの1級学科の中でトップを占めるに至っている。

このように、芸術芸能学科、とりわけ演劇映画学科は、設置学校数と募集人数共に著しい増加の傾向を見せている。

芸術芸能学科の発展要因

現在、中国では、学歴が人の出世にものを言う度合いが、以前と比較してはるかに高くなった。高い学歴を獲得しないと、厳しい競争社会の中で、高所得や高地位が得られないという確信が世の中には広まりつつある。そして、近年、中国の国家政策により大学の定員数が大幅に増やされたため、高等教育への進学率が1999年の9.8%から、2003年の17.0%、2005年の21.0%へと、わずか6年間で2倍になり⁽¹²⁾、高等教育の大衆化段階に移行しており、多くの人材を社会に送っている。しかし、大卒者の数が短時間で劇的に増えたことで、一時的に「教育過剰」による就職難の状況が現れている。そのため、就職に有利とされる重点大学への進学をめぐる受験競争が一層厳しくなっている。

中国では、日本のように大学や専攻ごとの試験は原則的には行われず、6月の「全国統一大学入学試験」の成績で受験生の進学先が決まる。しかしながら、同じ入学試験を用いる同じ大学であっても、その合格ラインは学科によって異なり、芸術芸能学科の合格ラインは、その他の学科を大きく下回る。たとえば、中国のトップ大学である北京大学の場合、2014年北京での合格ライン⁽¹³⁾は、理系が683点、文系が663点であったのに対して、芸術系の合格ラインは400点に過ぎなかった。このような現状から、芸術芸能学科は、重点大学へ入学可能な場として多くの親や受験生に認識され、人気が高まっている。

一方、大学側から見れば、芸術芸能学科は、他の学科に比べて、教育部による学科設置などの制限が少ない。また、芸術系の特質上、高い授業料を徴収できるというメリットがあるため、芸術芸能学科を開設する高等教育機関はますます多くなっている。表2は2014年中央教育部の新高等教育機関における授業料規定に基づき、率先して授業料を改定した6つの行政省（市）の公開データである。東部先進地域の天津、江蘇はもちろん、西部後進地域の寧夏、広西、貴州においても、一般学科の授業料より芸術系のほうが高く設定されていることがわかる。しかも、江蘇を除いたすべての地域においては、芸術系の授業料は、高いとされる医学系も上回っており、その額は文・理系の2倍以上となっている。

表2 高等教育機関における授業料の改定（本科） 元/年

	文系	理系	医学系	芸術系
天津	5,200	5,800	6,200	12,000
寧夏	4,000	4,400	5,300	8,000
江蘇	5,200	5,500	6,800	6,800
広西	4,200	4,600	5,400	12,000
山東	4,000	4,500	5,400	8,000
貴州	一般学科		芸術系	
	4,170		9,000	

出典 新聞記事と公開データにより筆者作成

芸術系のこのような増加傾向、特に演劇映画学科への進学ブームは、中国の映画産業の発展と深く関連している。2000年から、成龍（ジャッキー・チェン）や範冰冰（ファン・ビンビン）をはじめとする数多くの中国の俳優が世界の舞台で活躍し、高い人気を集めている。また、中国における所得の中間層の増加につれて、映画という娯楽が広まり、映画産業が急速な伸びを示している。アメリカ映画協会（MPAA）の報告によると、2012年中国は日本を追い抜き米国に次ぐ世界第2の映画市場となっている⁽¹⁴⁾。当年末までに、中国の映画館チェーンは4年連続で増加しており、都市部には46系列の映画館チェーンが生まれた。2011年末の劇場数約2,800カ所（スクリーン数約9,200）のうち、当年中に新設されたものは約803カ所（スクリーン数約3,030）に上った⁽¹⁵⁾。中国映画の観客動員数は延べ4億6000万人に達し、2000年以来の最高記録を更新した⁽¹⁶⁾。国家新聞出版広電総局電影（映画）局がまとめたデータによれば、2012年に中国が製作した映画は893本（アニメ・教育映画などを含む）、うち劇映画が745本だった⁽¹⁷⁾。中国の映画市場の伸びの大部分は、国内の映画産業に支えられており、2011年の興行成績上位10位のうち、4本の国内で制作された映画がランクインしている⁽¹⁸⁾。

上記のように、空前の活況に沸いている映画産業界の背景としては、国家からの支援政策を看過できない。2010年、中国中央政府は、映画産業が資源消費と環境汚染の少ない文化産業であることを

定義し、映画産業を積極的に繁栄発展させることが中華文化の国際競争力と影響力を拡大し、国の文化的ソフトパワーを増強する上で重要な意味を持つと公表した⁽¹⁹⁾。2011年、国務院法制事務所（辦公室）は、「中華人民共和国映画産業促進法（意見聴取用草案）」を発表した。それについて、専門家は、単一産業に特化した法律の立法化への動きは中国の立法史上初めてのことで、映画産業の発展を極めて重視し、全力で支持するという政府の姿勢が伺えると指摘した⁽²⁰⁾。また、「映画産業促進法（草案）」が公布される前年の2010年には、国務院弁公庁が、「映画産業の繁栄と発展の促進に関する指導意見」を発表した。そのうち、「人材育成に力を入れる」⁽²¹⁾が主要措置の1つとして取り上げられている。当該意見には、「環境を整え、施策を整備し、映画関係の高等教育と職業教育を積極的に発展させると同時に、在職者向け研修及び実践を強化する」⁽²²⁾という提言が明確に打ち出されている。さらに、国務院弁公庁は、各地方政府が映画産業を繁栄させることの重要性を認識し、映画産業の繁栄発展の促進を重要課題として当地の地域発展全体計画に組み入れ、関連政策を整備し、指導を強化し、映画産業の発展を促進することを要求した⁽²³⁾。

演劇映画学科の概要と動向

こうした映画産業の好況には様々な要因があるが、教育面からの追い風も見逃せない。2011年4月に開催された「中国国務院学位委員会」により、芸術学は文学の専攻学科から独立、哲学、経済学、法学、教育学、文学、歴史学、理学、工学、農学、医学、軍事学、管理学と同様に、芸術学専攻学科となり現在の13学科となる。また、「中国の教育部門は、高等教育における専攻学科を1級学科と2級学科に階層的に分類管理している。1級学科は特定学術分野の対象範囲の広い学科分類であり、それぞれの1級学科の下に対象範囲を細分化したいくつもの2級学科を置く体系としている」（独立行政法人科学技術振興機構、2011）⁽²⁴⁾。たとえば、芸術学専攻学科の下には1級学科として芸術学概論、音楽舞踊学、演劇映画学、美術学、デザイン学の5つの学科が配置される。また、演劇映画学科の中には、芝居、演劇学、映画学、演劇映画文学、演劇映画監督、映画美術、アナウンサーなどの2級学科も設置している。映画産業の好調と共に演劇映画学科も爆発的な人気を博している。

しかし、演劇映画学科を卒業しただけで誰でも芸能人になれるわけではない。江蘇省2010年の調査によると、当該年度に江蘇省で就職率の低い専攻ランキング20のうちに7つの芸術芸能学科が入っており、演劇映画文学が10位にランクしていた⁽²⁵⁾。これらから、一般芸術芸能大学から出た卒業生が大変厳しい就職状況に直面していることが分かった。とはいえ、それだけで中国の芸術芸能大学の全体像を言い切れるだろうか。そこで本節では、中国の芸術芸能教育上トップとされる三大演劇学校、北京映画学院、中央戯劇学院、上海戯劇学院を中心に演劇映画学科の現状と動向を分析する。

中国映画界における唯一の最高学府である北京映画学院（Beijing Film Academy）は、映画関係の専門的人材を養成する大学である。前身は1950年に設立された中央電影局表演芸術研究所（中央電影局表演藝術研究所）であり、1956年に組織改編が行われ、現在の名称に改称された。卒業生は、映画界だけでなく、テレビ界で活躍する人材も多い。1949年12月正式に設立された中央戯劇学

院（The Central Academy of Drama）は、その名のとおりに、映画監督や俳優など舞台芸術全般に関わる人材を育成する演劇芸術アカデミーである。卒業生には俳優や映画監督をはじめ映画・演劇関係者が多い。上海戯劇学院（Shanghai Theatre Academy）は中国の上海にある現代演劇の国立芸術大学である。中国演劇界のための人材育成を目的とした高等芸術学校で、その前身は1945年に創立された上海市立実験戯劇学校である。北京の中央戯劇学院・北京電影学院と並ぶ演劇の最高学府として名高い。

毎年行われる演劇映画学科の入学試験には、中国全土から数万人が応募し、激しい競争が繰り広げられている。北京映画学院が3月中旬に発表した2015年演劇映画学科の1次試験⁽²⁶⁾合格者リストに

表3 演劇映画学科の募集定員、応募者数、及び入試倍率（倍）

中央戯劇学院

		募集定員（人）	応募者数（人）	入試倍率
2014	全学科	495	30,254	61.1
	演劇映画学科	50	6,897	137.9
2013	全学科	396	23,000	58.1
	演劇映画学科	50	9,700	194
2012	全学科	347	20,537	59.2
	演劇映画学科	47	8,400	178.7
2011	全学科	291	14,000	48.1
	演劇映画学科	45	4,392	97.6
2010	全学科	300	10,822	36.1
	演劇映画学科	48	3,741	77.9

北京映画学院

		募集定員（人）	応募者数（人）	入試倍率
2014	全学科	513	18,985	37.0
	演劇映画学科	50	5,071	101.4
2013	全学科	513	16,122	31.4
	演劇映画学科	50	4,569	91.3
2012	全学科	455	18,042	39.7
	演劇映画学科	75	6,186	82.5
2011	全学科	488	19,678	40.3
	演劇映画学科	30	— ⁽²⁸⁾	—
2010	全学科	453	16,172	35.7
	演劇映画学科	60	4,291	70.3

出典 各学校の募集要項により筆者作成

よると、受験者 6,168 人のうち 324 人が 2 次試験に進み、全体の 94% にあたる 5,844 人が不合格となった⁽²⁷⁾。2015 年北京映画学院の演劇映画学科の募集人数は合計 50 人、1 次試験の競争率は 123 倍となった。さらに、同年の中央戯劇学院の合格倍率は北京映画学院を上回る 172 倍となっており、いずれも非常に狭き門であるといえる。表 3 は、中央戯劇学院と北京映画学院の募集要項と近年の新聞記事を基に、両校の演劇映画学科の入試倍率（募集定員 / 応募者数）を示したものである。

演劇映画学科の入試倍率は、全学科より平均して 3 倍ほど高く、近年連続して高まっている。中央戯劇学院は、特に 2012 年に 178.7 倍、2013 年に 194 倍となっており、2014 年にはその倍率が少し下がったものの、相変わらず 137.9 倍の高い競争率を維持している。一方、北京映画学院は受験競争がますます激化しており、100 人中 1 人しか合格できないのが現状である。中国各地からの受験生のなか、普通の受験勉強では良い学校に入れる見込みがないとのことから、詰め込みでダンスや芝居やらを勉強して一発逆転、名門校入りを狙う人もいるが、多くの受験生は「芸能人になりたい、芸能界に入りたい」という夢を持って芸術の道を歩もうとしている。

ところで、芸能界は才能や実力があれば、必ず出世するといえる世界ではなく、どんな努力をすれば芸能界で成功できるかさえ、明確ではない。図 2 は 1990 年以來、北京映画学院、上海戯劇学院、中央戯劇学院の卒業者とそのうち芸能人になった人の割合を示すものである。

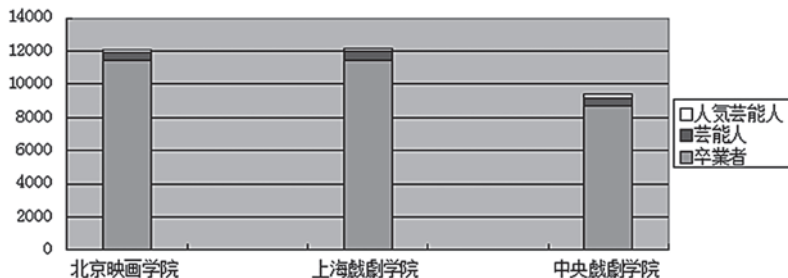


図 2 1990 年以來の卒業者数と芸能人になった人の割合
出典 三校の公開データと新聞記事により筆者作成

ここで書かれている「芸能人」は、中国最大の検索エンジンである百度で検索できた芸能関連職業に従事している人たちである。1990 年以來、「スター生産工場」と高評されているこの 3 つの学校から卒業した若者は 3 万人以上とされている。上海戯劇学院の卒業生が 11,475 人で一番多く、北京映画学院が 11,450 人、中央戯劇学院が 8,675 人の卒業者を輩出している。しかしながら、膨大な数の卒業生に対して、芸能人として出世したとされる人の数は上海戯劇学院で 561 人、中央戯劇学院で 522 人、北京映画学院で 462 人と合計 1,545 人に過ぎない。また、そのうち人気芸能人になって大きな成功を収めた人は更に少ない。大学のホームページで掲示されている著名な卒業生、いわゆる「人気芸能人」の数は、北京映画学院が 131 人、上海戯劇学院が 147 人、中央戯劇学院が 216 人であった。言い換えれば、25 年の間、スターになって夢をかなえた人は僅か 494 人しかないということである。

結論と考察

中国の芸術芸能学科は近年急激な成長に伴い、看過できない問題も現出した。まず、挙げられるのは芸術芸能学科の急速な量的拡大である。1949年の新中国成立後、中国全土の大学の運営は、中央人民政府教育部による統一的な管理の下で行われてきた。学生の募集計画や卒業生の就職先の配属、また専攻科目の設置や変更に至るまで、政府の教育主管部門が審査、決定した。それが、1999年1月に施行された「中華人民共和国高等教育法」により、大学の自主権を拡大する基本方針が明確にされ、大学は法律により自主的に専攻学科を設置・調整し、また自主的に学科および専攻の定員配分を調整することができるようになった⁽²⁹⁾。更に、芸術学は他の学科に比べて学科設置の制限が比較的少なく、また芸術系の特質上、高い授業料を徴収できるため、ますます多くの大学が芸術芸能学科を開設しはじめた。しかし、芸術芸能学科の専攻設置と芸術従事者への需要に関しては、教育行政部門からの全体調整が足りないため、高等教育機関における芸術芸能学科の設置は社会全体でみれば合理的ではないと言える。

次に、近年オーディション番組やバラエティ番組が大きな人気を博している。一般人でも“応募”さえすればテレビに出演することができ、実力が伴えば夢をかなえる点は多くの視聴者の心を掴んでいる。そのため、多くの親と受験生たちは、芸能人になることが出世に一番近い道と思い込んでいる。高い授業料を支払っても子どもを芸術芸能学科に入学させる親が少なくない。高等教育における芸術芸能学科への進学ブームも一層加熱している。しかし、現実には理想より残酷であり、非情である。何年をかけて努力しても出世に至らない人がほとんどであり、スターになった人はごくわずかである。

ここまで、中国の高等教育機関における芸術芸能学科の動向をみてきた。最後に先行研究として指摘した韓国の芸術芸能教育と比較しておこう。韓国の場合、国立大学をはじめとする4年制総合大学は、芸術芸能学部を設置しており、芸術芸能教育において総合大学が大きな役割を果たしている⁽³⁰⁾。それに対して中国では、多くの本科のみならず専科の総合大学にも芸術芸能学科が開設されており、その多くは学術分野であり研究を重んじる傾向がある。そして、中国には総合大学以外に、国公立芸術芸能単科大学が多数存在している。そこでは研究よりは実用的な教育、学術教育よりは専門教育が行われている。また、中央戯劇学院や北京映画学院などのような世界から注目されている専門大学が多いことから、研究と実用の役割分担がなされていると言える。

他方で、中韓両国の芸術芸能教育に関しては類似点も極めて多い。まず、両国共に2000年以来芸術芸能学科が急激に増加していることである。また、高等教育機関の供給を大きく上回る需要が存在するため、芸術芸能学科をめぐる受験競争が激化している⁽³¹⁾。さらには、芸術芸能教育、特に演劇映画学科の新たな成長の背景としては、映画産業の発展及び国家からの支援政策が挙げられる。韓国では2002年から現在に続く第2次映画産業の発展期において、映画の製作本数が伸び、観客数も大幅に増加している。また、インターネットの普及により、映画とテレビ番組などの大衆映像メディア市場も大きく発展していることも見逃せない⁽³²⁾。同様に、中国の映画産業も急速な伸びを示してい

る。映画の観客動員数が年々記録を更新しており、莫大な需要に応じて映画関連産業の発展は順調に進んでいる。加えて、両国においては、映画、音楽などの文化産業に対して国家からの支援政策が矢継ぎ早に打ち出されており、芸術芸能教育の発展を推進している。

本研究では、中国の高等教育機関における芸術芸能教育、なかでもとりわけ人気のある演劇映画学科を中心に、急成長の実態を把握すると共にその背景と問題点を検討した。最後に中国と韓国における芸術芸能教育を比較しながら、両国の芸術芸能学科の動向と発展背景を明らかにした。

これらの研究結果をもとに、今後は日本における芸術芸能教育に関する状況を中韓と比較して明らかにすることを課題とする。

注(1) 中国の高等教育は目的や教育方法によって大きく、普通高等教育、成人高等教育、軍事高等教育の3つの類型に分けられる。本論では、普通高等教育に焦点を当てる。

(2) 中華人民共和国統計局『中国統計年鑑』 <http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/>（最終閲覧日：2015年4月9日）

(3) 「中国高等教育統計データ」 http://www.edu.cn/gdij_9344/（最終検索日：2015年4月9日）

(4) 当該調査データには、卒業予定者についての統計値は2008年が最新である。

(5) 中華人民共和国統計局の統計には、芸術芸能学科が文学学科に所属しており、2004年から芸術芸能学科に対する調査データを出し始めた。

(6) 中華人民共和国統計局『中国統計年鑑』 <http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/>（最終閲覧日：2015年4月9日）

(7) 同上。

(8) 芸能人は、その学問的定義がまだ明確に統一されていないため、本稿では、韓国雇用職業分類の第6次改正で定義されている「大衆文化を形成するメディアを通じた、歌手・タレント・俳優・モデルなど、テレビ放送・芸能プログラムに出演する一連の職業群を指す」の意味で使用する。

(9) 専科大学が行う専科教育課程の基本的な修業年限は2年ないし3年で、日本の短期大学あるいは専門学校に相当する。

(10) 張海水、胡瑞文、2013、〈人才供求視角下我国普通高等教育艺术学科发展状况研究〉。

(11) 同上。

(12) 鮑威「高等教育の大衆化への道：中日比較の視点から」p199

（<http://www.jsc.fudan.edu.cn/meeting/061208/06120819.pdf> 検索）（最終閲覧日：2015年4月9日）

(13) 中国高等教育への進学に関しては、政府の地域優遇政策と出身省別募集定員割当制度の下、各省ごとに募集人数が決められ、合格ラインの決定や入学者の選抜も地域別に行われる。

(14) 人民網日本版 <http://j.people.com.cn/94476/8182087.html>（最終閲覧日：2015年4月9日）

(15) 東洋証券「海賊版は自然消滅？ 映画産業は隠れた成長分野」

http://www.toyo-sec.co.jp/china/column/letter/120502_3127.html（最終閲覧日：2015年4月9日）

(16) 人民網「中国、国産映画の7割未公開 質の向上が課題」

<http://japanese.cri.cn/918/2013/03/20/161s206110.htm>（最終閲覧日：2015年4月9日）

(17) 同上。

(18) 朝日新聞「日本より中国をターゲットとする米国映画産業」

http://www.huffingtonpost.jp/2013/05/31/china_movie_n_3363537.html（最終閲覧日：2015年4月9日）

(19) 日本貿易振興機構、2010、「国務院弁公庁の映画産業の繁栄と発展の促進に関する指導意見」p1。

(20) 「中国が映画産業振興に本腰、外資など参入規制緩和、促進法制定へ」

<http://news.livedoor.com/article/detail/6129726/>（最終閲覧日：2015年4月30日）

(21) 日本貿易振興機構、前掲。

- (22) 同上。
- (23) 同上。
- (24) 独立行政法人科学技術振興機構 中国総合研究センター, 「平成 22 年版 中国の高等教育の現状と動向 本文編」 p42。
- (25) 张海水, 胡瑞文, 前掲。
- (26) 日本では, 推薦を除けばあらゆる専門の入学試験はほぼ同時期に実施されるが, 中国はやや変わっており, 芸術系学部などの専門試験だけは別時期の実施である。6 月の統一試験に先駆けて専門試験の成績による選抜がなされている。
- (27) 新華網日本版「イケメン, 美女が集結 北京映画学院の 2 次試験」
http://jp.xinhuanet.com/2015-03/19/c_134076068.htm (最終閲覧日: 2015 年 4 月 9 日)
- (28) 北京映画学院の 2011 年の応募者数は公開されていない。
- (29) 独立行政法人科学技術振興機構 中国総合研究センター, 2011, 「平成 22 年版 中国の高等教育の現状と動向 本文編」。
- (30) 沈雨香・韓冀娜・金ソルネ, 2015, 「韓国高等教育機関における芸術芸能学科の動向——演劇映画学科と実用音楽学科を中心に」『教育学研究科紀要』別冊 22 号-2, 前掲, p1。
- (31) 同上, p8。
- (32) 同上, p3。

参考文献

日本語

- 沈 雨香・韓 冀娜・金 ソルネ, 2015, 「韓国高等教育機関における芸術芸能学科の動向——演劇映画学科と実用音楽学科を中心に」『教育学研究科紀要』別冊 22 号-2
- 独立行政法人科学技術振興機構 中国総合研究センター, 2011, 「平成 22 年版 中国の高等教育の現状と動向 本文編」
- 関 維方, 2007, 「中国における高等教育発展の新たなトレンド」『国立大学財務・経営センター 大学財務経営研究』第 4 号, pp231-240。
- 蔣 純青, 2011, 「中国における学歴格差社会」専修大学社会科学研究所月報一 (581), pp32-58。
- 楊 雲, 2009, 「中国における高等教育の市場化と機会均等性」新潟大学大学院現代社会文化研究科 博士論文 日本貿易振興機構, 2010, 「国務院弁公庁の映画産業の繁栄と発展の促進に関する指導意見」国弁発, 9 号。

中国語

- 张海水, 胡瑞文, 2013, <人才供求视角下我国普通高等教育艺术学科发展状况研究>, 国家自然科学基金重点项目
- 教育部, 2011, 《学位授予和人才培养学科目录》中国人民教育出版社
- 中华人民共和国国家统计局, 2014, 《中国统计年鉴》中国统计出版社
- 中华人民共和国中央人民政府, 2005, 《中华人民共和国高等教育法》中国人民出版社

WEB SITE

- 中国高等教育统计数据 http://www.edu.cn/gdjj_9344/ (最終閲覧日: 2015 年 4 月 9 日)
- 北京大学分省录取分数线 (2014 年度)
http://gaokao.eol.cn/zui_xin_dong_tai_2933/20140730/t20140730_1157647.shtml (最終閲覧日: 2015 年 4 月 9 日)
- 中国高校学费调整一览 (本科)
http://www.dzwww.com/xinwen/guoneixinwen/201408/t20140819_10867933.htm (最終閲覧日: 2015 年 4 月 9 日)

戏剧影视专业介绍 <http://www.gaokao.com/e/20140404/533e643113458.shtml>（最終閲覧日：2015年4月9日）

中国教育在线

http://gaokao.eol.cn/zui_xin_dong_tai_2933/20130220/t20130220_904575.shtml（最終閲覧日：2015年4月9日）

KINBRICKS NOW <http://kinbricksnow.com/archives/51681497.html>（最終閲覧日：2015年4月9日）

中央戏剧学院校友网 <http://web.zhongxi.cn/rck/>（最終閲覧日：2015年4月9日）

中央戏剧学院招生简章 <http://web.zhongxi.cn/zsjy/bkzs/>（最終閲覧日：2015年4月9日）

北京电影学院校友网 http://www.bfa.edu.cn/xygk/node_37.htm（最終閲覧日：2015年4月9日）

北京电影学院招生网 <http://www.bfa.edu.cn/zs/index.htm>（最終閲覧日：2015年4月9日）

上海戏剧学院校友名录 http://xy.sta.edu.cn/list_xyml.aspx（最終閲覧日：2015年4月9日）

上海戏剧学院招生简章 <http://zs.sta.edu.cn/list.aspx?ident=zsyz>（最終閲覧日：2015年4月9日）